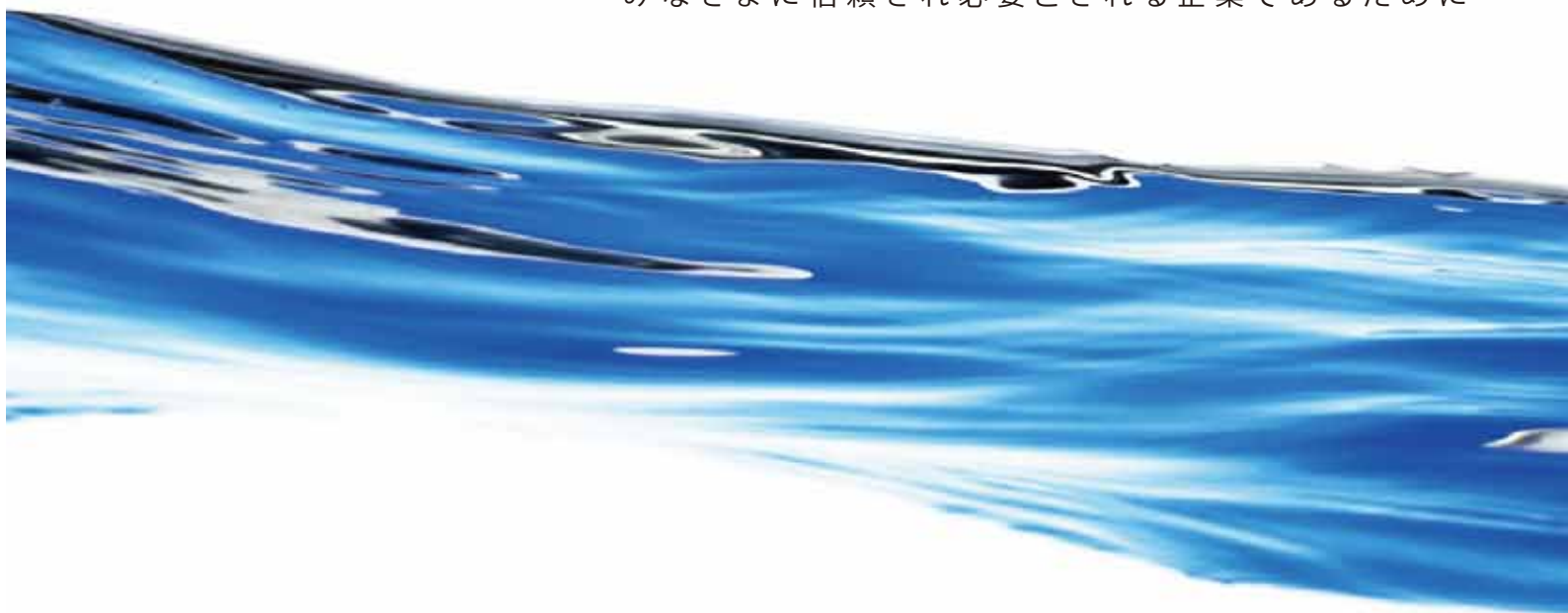


CSR REPORT 2011

みなさまに信頼され必要とされる企業であるために



CSR REPORT 2011

みなさまに信頼され必要とされる企業であるために

[目次]

トップメッセージ

事業活動と社会的責任

企業理念

経営理念

お客様の定義

ミッション

企業価値

行動基準

コンプライアンス

- ・法令と企業倫理の遵守
- ・シーレックスグループ「倫理綱領」
- ・企業倫理相談窓口
- ・セクハラ・パワハラ・メンタルヘルス相談窓口
- ・公正な外注取引への取組み
- ・危機管理体制の整備

品質保証

- ・品質保証体制の推進
- ・シーレックス品質方針
- ・個人情報保護体制の推進
- ・シーレックス個人情報保護方針

社会性パフォーマンス

- ・人財の開発・育成
- ・管理職研修
- ・テーマ別研修
- ・プロモーションルマーケター
- ・新入社員研修 フォローアップ研修
- ・通信教育講座
- ・改善提案制度
- ・社史
- ・基本的人権の尊重
- ・労働安全衛生
- ・健康管理・健康増進
- ・AED(自動対外式除細動器)
- ・社会・地域社会貢献活動
- ・ボランティア活動
- ・清掃活動
- ・工場見学
- ・エコキャップ運動の推進
- ・使用済み切手／テレホンカードの回収

環境パフォーマンス

- ・環境保護体制の推進
- ・シーレックス環境方針
- ・環境ビジョン2010年度評価

トップメッセージ TOP MESSAGE

社会に貢献し社会から信頼され、必要とされる企業を目指します

2011年3月に発生した東日本大震災は未曾有の被害をもたらし、半年が経過した今でも日本国内のさまざまな地域・産業に大きな爪痕を残しています。被災された皆様に改めまして心よりお見舞い申し上げます。当社も宮城県にある東北工場が被災しましたが、早期に復旧することが出来ました。これもひとえに皆様方のご支援の賜物と、心より感謝申し上げます。

リーマンショックから3年、さらに今回の東日本大震災の影響で、日本社会、及び日本経済には不透明感が高まっているように思いますが、このような状況ではありますが、わたしたちシーレックスは、事業活動そのものである“ものづくり”を通じて、社会に貢献すること、社会から信頼されること、そして創業以来「創造」の精神を原点に、社会から必要とされる企業を目指します。

より良い社会・持続可能な社会の実現に向けて

ものづくりをおこなう上でどうしても発生してしまうCO2や産業廃棄物などは、継続的かつ積極的に低減していく努力が必要です。2010年度は、売上げ原単位の目標は未達成となりましたが、産業廃棄物の排出量は減少し、かつ廃棄物のリサイクル化においては98%以上となる高いリサイクル率を達成しました。CO2の排出量は、この数年、ほぼ横ばいで推移しておりますが、既存設備の見直しやエネルギー管理をより一層強化することで低減につなげたいと考えております。CSRのひとつの柱であります「環境保護」については、当社の環境方針にも掲げておりますように『“かけがえのない地球”の環境

と資源を健全な状態で次世代へ引き継ぐことは私たちの責務』とし、生物多様性の保全と持続可能な循環型社会をめざし、調達から出荷に至る事業活動のあらゆる面で環境保全に配慮し行動します。また、「地域との共生」では、地域の清掃活動のほかに、当社の工場に社会科見学に訪れた地元の子どもたちと触れあったり、スポーツを通じて身体障がい者の皆さんと交流するなど、地域に密着した企業を目指して取り組んでおります。人と人とのつながりを大切に、こうした活動に真摯に取り組む、それを継続することで地域社会に貢献してまいります。

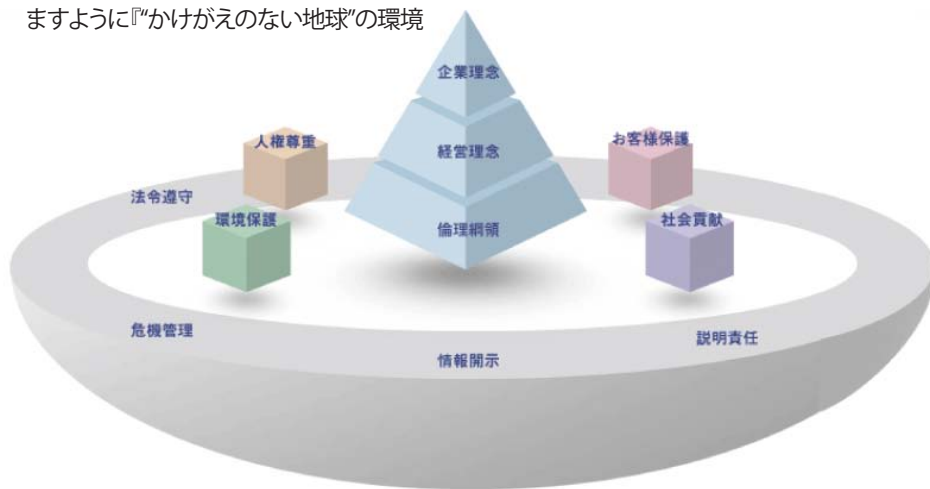
社会に存在を認められる会社であるために

わたしたちシーレックスは、皆様により良い商品・サービスを提供し、地域に密着した企業として、持続的な成長を続けていくことが社会的責任を果たすことだと確信しております。創業以来培ってきた高い技術やノウハウにさらに磨きをかけ、これからも新しい価値を「創造」し、高い目標に「挑戦」し続ける会社として邁進してまいりますので、今後もこれまで以上にご支援ご指導いただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

2011年9月

シーレックス株式会社 代表取締役社長

栗原 敦

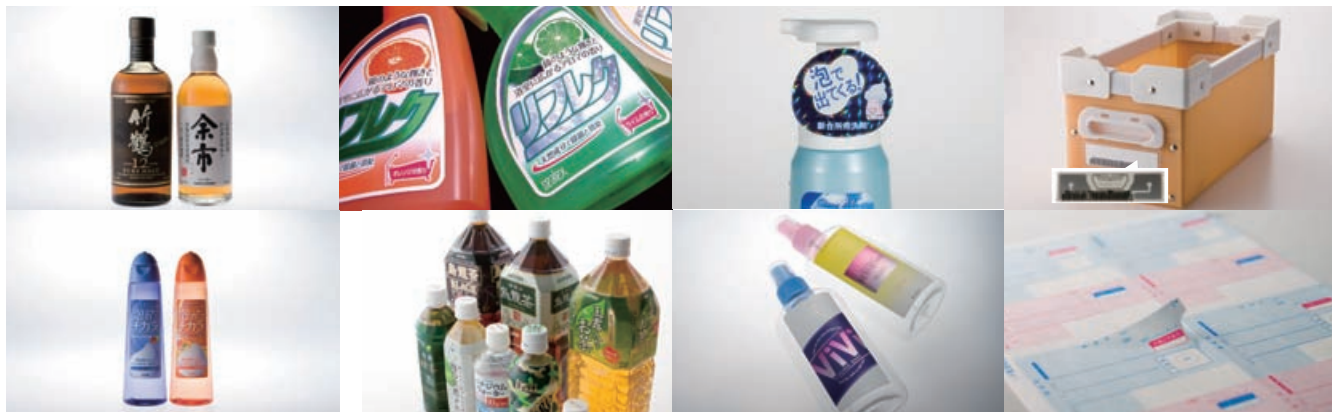


事業活動と社会的責任

シーレックスは、さまざまなシールラベルの開発と進化の全てに関わり、その可能性を拡大させてきました。

社名“Sealex”の由来は“Seal+Extension”。まさに「可能性の広がり」そのものをその名に託しています。

そしてシーレックスは、いま新たな一歩を踏み出しました。つねに商品に魅力的な付加価値をもたらすシール・ラベルの世界を基盤に、人と人とのコミュニケーションを広げる新しい情報発信メディアの世界へ。Imagination (想像力)の翼を身体いっぱい広げて、シーレックスは次代への挑戦を加速させます。



企業理念

創業者の精神・伝統の原点「創造(クリエイティブ)」

創業以来、シーレックスの歴史はまさに「創造」の連続でした。日本専売公社の煙草値上げシールの全量一括受注から始まり、ラベリングシステムの販売。製版の内製化。一連の業務のコンピュータ化。SPシールの製造及びカタログ販売。多層ラベルの製造販売などなど過去四十数年、シーレックスは業界に先駆け、新しい仕事、新しい市場、新しい需要、新しい商品、新しい仕組み、新しいサービス、新しい価値を「創造」してきました。これからも、未来永劫、シーレックスは「創造」の精神を原点に活動していきます。

経営理念

経営者の哲学・思考

シーレックスは「高い志をもってあらゆることに挑戦する気概に満ち溢れる会社」「変化に柔軟に対応して世の中の半歩先を行く意味でのタイムリーでスピーディーに実行する会社」「他社、他人には絶対に負けない匠をもっている会社」になることを理念としていきます。

「挑 (チャレンジ) 」

「速 (スピード) 」

「匠 (プロフェッショナル) 」

事業活動と社会的責任

お客様の定義: シーレックスのお客様の範囲・定義



取引先企業



消費者

シーレックスのお客様はこれまで実際にご注文を頂いている「取引先企業」が全てでした。しかし、企業の社会的責任の範囲が広がってきたことから実際に我々の作り上げたシールラベルを実際に手に取り、見て、読んで、使用される「消費者」の方々まで「お客様」の範囲を拡大することが急務であると考えます。従って、シーレックスの社員には常に「取引先企業」そして「消費者」の方々のことを考えて仕事を進めていくことが求められます。

ミッション: 企業としての存在意義・基本的な使命

お客様に「安心」と「便利」そして「満足」と「悦び」を提供する。

シーレックスがこの世に存在する意義は何なのか？シーレックスがこの世に存在し果たすべき使命は何なのでしょう？それは時代時代に移り変わるお客様の要求に応じたシールラベルを提供することによって、お客様の毎日の生活に「安心」と「便利」を提供することであります。また、我々が作り上げたシールラベルの品質、価格、納期などについてお客様に「満足」を提供すること、更にはお客様がシールラベルを見たり、触ったりすることによってお客様の生活に「悦び」を提供すること。それがシーレックスの存在意義であり使命です。

企業価値: お客様に提供する価値の本質を凝縮して一言で表現したもの

ハードとソフトを兼ね備えたシール・ラベルのコンビニエンスストア

シーレックスがお客様に提供すべき価値は何なのか？同業他社ではなくシーレックスをお客様に選んで頂くための価値をどこに求めるのか？それは、ただ単にお客様から頂戴した原稿をもとにシールラベルを印刷加工し、お客様に提供するというだけでなく、ラベリングシステムやプリンタといったハードと、キャンペーンシステムや企画広告

といったソフトを、ありとあらゆるシールラベルと一緒に、小ロットから大ロットまで、多くの種類を、短納期で、廉価で、24時間、365日提供することが出来る会社です。シーレックスがお客様に提供する価値を一言で言えば、「ハードとソフトを兼ね備えたシール・ラベルのコンビニエンスストア」です。

行動基準: 社員に対して日常的に期待される行動指針

シーレックスで働く人々が毎日の仕事に取り組む上で常に念頭において行動して欲しい基準

【行動基準10カ条】

- ①お客様の要望に応え、お客様の問題・課題を解決し、お客様の信頼を勝ち取り、お客様を創造する。
 - ②新しいアイデアを常に創造し、実行し、そして社会を変革し、社会に貢献する。
 - ③何事にも積極的に挑戦し、困難や競争から逃げず、最後までやり遂げる。
 - ④当たり前なこと、基本的なこと、平凡なこと、小さいことの積み重ねを徹底し、確実に、正しく行う。
 - ⑤いつも明るく、元気に、物事をプラス思考し、未来に希望を持ち、未来を創造していく。
 - ⑥ひとりひとりが自立し、仲間とのコミュニケーションを促進し、智恵をだしあい、互いに成長していく。
 - ⑦常に変化に適応し、やる気をもって、スピードをあげて実行する。
 - ⑧良き地球市民として、地球環境を常に念頭に置き、これを優先して行動していく。
- ⇒【環境方針】
- ⑨常にお客様の品質、価格、納期要求を満たす製品を提供し続ける。
- ⇒【品質方針】
- ⑩個人に関する情報の重要性を理解し、安全かつ正確に徹底的に管理、保護する。
- ⇒【個人情報保護方針】

シーレックスグループでは、役員および従業員一人ひとりがコンプライアンスの精神を持ち、社会から信頼され、必要とされる企業を目指して事業活動を進めています。

社会から信頼され必要とされる企業を目指して

私たちシーレックスグループは、コンプライアンスを単なる法令順守ではなく、企業倫理や社内規則、規程まで含めた規範の遵守と位置づけています。

公正な競争を通じて利潤を追求すると同時に、広く社会にとって必要な存在となるため、社内の行動基準として2004年に「行動基準10カ条」、2005年に「シーレックスグループ倫理綱領」を制定し、コンプライアンスの徹底に取り組んでおります。

シーレックスグループ「倫理綱領」《顧客、取引先、他社、社会との関係》

1. 法令、社内規則、方針の遵守

私たちシーレックスの役員、従業員は、自らの業務に関連する全ての法令、規則及び社内規則、方針を遵守し、また自らの業務に適用される法令、規則及び社内規則、方針上の要請を確認し、理解することは、シーレックス取締役、役員、従業員の責任です。

2. 消費者・顧客の信頼を獲得する

私たちは、常に顧客の満足が得られる信頼性の高い製品とサービスをタイムリーに提供します。そのために、常に品質の継続的改善に努めます。

3. 取引先、協力会社との信頼構築

私たちは、公明正大、自由な競争のもとに、購入先の選定については合理的な判断を行い、購入先や協力会社とは誠実な取引関係を継続して高い信頼を得られるように努めます。

4. 会社情報・製品情報の保全

私たちは、顧客の情報、製品に係わる情報を適正に管理し、目的以外の使用はしません。

5. 接待、贈答等

私たちは、取引先と健全な関係を築き、社会通念を超える接待、贈答の收受はしません。

6. 広告・宣伝等

私たちは、広告・宣伝等の活動で事実と反する表示・表現や誤解を与えるおそれのある表示・表現は行わないよう努めます。

7. 地域社会との共生

私たちは、良き企業市民としての役割を自覚し、地域社会の活性化に向けてスポーツ・教育振興、自然保護・環境保全、福祉支援等の社会貢献活動を積極的に行ないます。

8. 環境との共生

私たちは、環境保護を尊重し、省エネルギー、省資源、廃棄物削減、化学物質の適正管理など環境保護活動を自主的、積極的に行うとともに環境配慮型商品の開発を行います。

9. 反社会的勢力との対決

私たちは、社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力および団体の介入は断固として排除します。またどのような名目であっても、いかなる利益供与も行わず、警察等の関係行政と密接に連携し、協力します。

10. 関係官庁、政治家との関係

私たちは、政治、行政とは透明度の高い健全な関係を構築します。

シーレックスグループ「倫理綱領」《従業員との関係》

1. 人権の尊重

私たちは、人権を尊重し、差別的取扱を排除します。また男女共同参画社会の実現に努めます。

2. プライバシーの保護

私たちは、プライバシーを尊重し、従業員の個人情報の適正な保護に努めます。

3. ハラスメントの排除

私たちは、いわゆるハラスメント(嫌がらせ)につながる行為を排除し、公正で明るい職場づくりに努めます。

4. 政治・宗教活動の禁止

私たちは、職場において、政治、宗教等の個人的な活動は行いません。

5. 勧誘活動の禁止

私たちは、職場において、個人や特定の団体の利益を図るような勧誘活動は行いません。

6. 会社財産の適正管理・使用

私たちは、会社の財産を私的な目的で使用しません。

7. 健康的な職場環境の維持

私たちは、健康的で安全で働きやすかつ生産的な職場環境づくりを推進し、従業員の福祉の充実に努めていきます。

8. 正しい報告

私たちは、事実に基づく正確な記録と報告を行います。

企業倫理相談窓口

シーレックスでは2006年7月に「企業倫理相談窓口設置規程」を制定し、シーレックスで働く従業員からのあらゆる相談に対応出来る相談窓口を開設しております。
万が一、法令・社内規定・倫理綱領に違反する行為を発見した場合、速やかに相談窓口へ通報することで早期に問題解決ができる社内制度を構築しております。
これらは、2006年4月に施行された「公益通報者保護法」に準拠しております。



●企業倫理相談窓口ポスター

セクハラ・パワハラ・メンタルヘルス相談窓口

セクシャルハラメント、パワーハラメントといった問題は今や重大な社会問題として取り上げられています。シーレックスでは、このような被害を受けた従業員が相談しやすいように外部に相談窓口を設け、問題の早期解決、再発防止に取り組んでいます。また、うつ病、統合失調症など『心の病気』に対するケアについても同様に専用の相談窓口を設け、メンタルヘルス対策を行っております。



公正な外注取引

●下請法の遵守

お客様の多様なニーズに応えるために、当社は数多くの協力事業者にご支援をいただいております。協力事業者との公正で適切な外注取引をおこなうには下請法の遵守が必要不可欠となります。シーレックスは、外注取引に関連する部門に対して必要な情報の伝達とコンプライアンス教育をおこない、これからも協力事業者との間でWIN-WINの関係が保てるよう取り組んでまいります。

●基本取引契約書の取り交わし

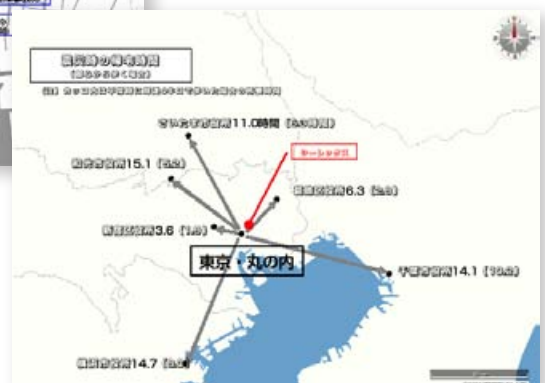
当社では、すべての協力事業者との間で「基本取引契約書」を取り交わし、公正かつ透明性の高い外注取引に努めています。



危機管理体制の整備(シーレックス事業継続計画書の策定)

シーレックスでは2007年より、大地震や大規模な自然災害により工場やオフィスが被災した場合を想定して事業継続計画(BCP)の策定に取り組んでいます。

取り組みの内容として、地震などの自然災害を想定した避難訓練や安否確認訓練の実施、重要業務のリスクの洗い出しや復旧シナリオの策定などを行っております。これらの総合的な災害対応能力の向上を図ることによりお客様に対する信頼性の確保を実現してまいります。



CSR REPORT 2011

みなさまに信頼され必要とされる企業であるために

品質保証

お客様と、ともに築く品質保証マネジメント (QMSの維持・改善)

シーレックスは、お客様へ、常に最良・最適の品質で安心・安全な製品とサービスを提供するために、全社的な品質保証の強化を推進しています。お客様に更にご満足いただけるよう品質保証マネジメント(QMS)の維持・改善に取り組めます。

品質保証の推進体制-顧客満足-

シーレックスの使命は、時代時代に移り変わるお客様の要求に応じたシール・ラベルを提供することにより、お客様の毎日の生活に「安心」と「便利」を提供することです。また、我々が作り上げたシール・ラベルの品質、価格、納期などについてお客様に「満足」を提供すること、更にはお客様がシール・ラベルを見たり、触ったりすることによってお客様の生活に「悦び」を提供することです。

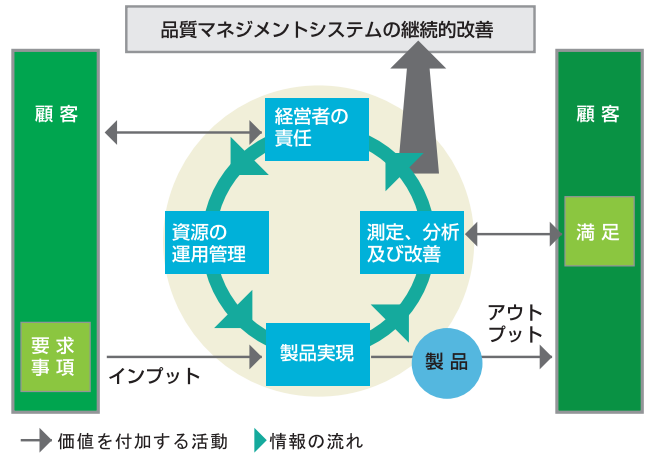
わたしたちは、常に最新で信頼性の高い品質保証体制を構築するために品質保証マネジメント(ISO9001:QMS)の維持・改善に取り組んでいます。お客様の定義として「お客様=取引先企業+消費者」を掲げ、設計・開発、営業から製造、デリバリーに至るすべてのプロセスの品質を保証するため、品質保証本

部が主体となって従業員教育や品質監査を実施し、全社のレベルアップをはかっております。

シーレックス品質方針

シーレックス株式会社は、シール・ラベルの製造において、顧客満足の向上を目指すために、全員で品質マネジメントシステムを確立し、品質の継続的改善・向上を行う。

2001年12月18日 制定



情報リスクマネジメント

お客様からお預かりする個人情報大切に保護管理します。

シーレックスは「個人情報保護方針」を掲げ、すべての社員に適正な情報管理を徹底し、個人情報の取り扱いにおける事故の撲滅を推進します。

個人情報保護体制の推進

シーレックスは、「個人情報保護は、社会的責任を果たすだけでなく、お客さまのみならず、あらゆるステークホルダー(利害関係者)に「安心」や「満足」をもたらす新たな価値創造である」と考えております。

お客様からお預かりする個人情報を取り扱う上で、想定されるあらゆるリスクに対応できるようプライバシーマークを認証取得し、個人情報保護体制を推進しております。

プライバシーマークとは、「JIS Q15001:個人情報保護マネジメントシステム」の要求事項に基づいて個人情報を管理する仕組みが構築され維持・推進されていることを認定機関が証明するものです。

これからも、お客さまに安心して情報をご提供いただける企業を目指して個人情報保護体制の構築・維持・改善に取り組めます。



● プライバシーマーク

シーレックス個人情報保護方針

○ 基本理念

当社は、創業者の精神・伝統の原点である「創造(クリエイティブ)」という企業理念に基づき、新しいサービス、新しい価値を創造してまいりました。この企業理念実現の基盤の一つとして、当社は、社会の一員として企業の社会的責任を果たすことが非常に重要な活動であると考えております。

今日、個人情報保護は企業としての重要な社会的責務であり、当社においても最も重要な活動の一つとして位置づけ、当社の事業ドメインである、シール印刷に関連したサービスや商品提供において、個人情報保護活動は、社会的責任を果たすだけでなく、お客様のみならず、あらゆるステークホルダー(利害関係者)に「安心」や「満足」をもたらす新たな価値創造であると考えております。

このため、当社では、個人情報保護についての「個人情報保護マネジメントシステム」を制定し、お客様やステークホルダーの皆様の個人情報の適切な管理と保護を行い、その信頼にお応えいたします。

○ 基本方針

1. 当社は、シール印刷等、当社の業務を遂行するために個人情報を取得する際には、利用目的を具体的に特定し、その利用目的の範囲内で利用及び提供を行います。また、本人から同意を得た利用目的を超えた利用又は提供を行う場合は、事前に本人の同意を得るものとします。
2. 当社は、個人情報の取り扱いに関する法令、国が定める指針その他の規範を遵守いたします。
3. 当社は、当社が取り扱う個人情報の漏えい、滅失、き損及び個人情報への不正アクセスを防止するとともに、それら個人情報保護対策の是正に努めます。
4. 当社は、当社が取り扱う個人情報に関する個人情報相談窓口を設置し、苦情、相談、及びその他問い合わせに適切に対応いたします。
5. 当社は、個人情報保護の活動を日々向上させるために、個人情報保護マネジメントシステムの継続的改善を行います。

制定日:2002年11月11日
改訂日:2006年10月10日
シーレックス株式会社
代表取締役社長 栗原 敦

CSR REPORT 2011

みなさまに信頼され必要とされる企業であるために

社会性パフォーマンス

人財の開発・育成 ～創造の源泉は人～

シーレックスは、シーレックスで働く人は「人材」ではなく、「人財」であり、これまで人の持つ無限大の可能性を信じて「企業の競争力の源泉は人」「一人ひとりの成長の総和が企業発展の基盤」という考えのもと、人を機軸においた経営、人を育てていくことを重視した経営を貫いてきました。「創造の源泉は人」、人財の開発・育成にこれまで以上に取り組んでまいります。

2010年度は、全社重点目標として、「人財育成の強化」を掲げ、①「強育(社員に少し重い仕事を任せる)」、②「競育(同じ年代同士で競いあわす)」、③「共育(上司と社員が共に学び、共に育つ)」を基本的な考えとして人財育成に取り組みました。

管理者研修

・育児休業、介護休業の法改正に伴う研修

2010年6月30日付けの「育児休業・介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律」の改正にあわせ、管理者に対し、改正点を重点に研修を実施しました。

・退職金制度改正に関する研修

税制適格年金制度の廃止に伴い、中小企業退職金共済へ資産を移管すること等、新しい退職金制度の運営方法について研修を実施しました。

・「マネージャーのための労務管理」通信教育講座

今年度新しく管理職に昇格した人たちが、マネージャーとしての基礎を学習しました。

テーマ別研修

・電子メールの書き方研修

本社営業部門に対し、お客様や取引先へ発信する電子メールの基本的な書き方についての研修をおこないました。

・プロモーションalマーケター認定資格制度

営業部門では、プロモーションのクオリティを厳しく問われる現在の状況をふまえ、より確かな成果を求めて「戦略性」を高めた、新しいプロモーション技術を取得しています。

・新入社員研修・フォローアップ研修

今年入社した7名が新入社員研修を受けました。研修の内容は、「シーレックスの歴史」「コミュニケーション講座」「就業規則」「コンプライアンス」など教育プログラムに沿って実施しました。また、働いて半年がたった時点でフォローアップ研修として、「仕事の進め方の基本」をおさらいし、半年経って出来たこと、出来なかったこと、

今後の目標などグループワークを通して仲間や先輩と理解を深めました。



通信教育講座

自己啓発の通信教育に52名が受講をしました。当社では、会社が指定した通信教育講座の終了を昇格要件のひとつにしています。

改善提案制度

2010年度に提出された提案件数は、2,317件でした。現場の気づきと創意工夫が「ちょっとした違い」の源泉です。新しい「創造」を見つけ出すためにも継続して取り組んでいきます。



●大阪支店の屋上緑化の提案

社史の編纂

シーレックスは、創業75年・設立50年を迎えるにあたり、これまで会社が歩んできた足跡を社史「創業75年・設立50年のあゆみ」としてまとめました。

シーレックスの発展に貢献された諸先輩の功績が紹介されており、企業理念・創業者の精神・伝統の原点「創造(クリエイティブ)」を理解するうえで貴重な書籍となっています。



安全で安心な職場環境の実現（社員とともに）

従業員に対する最も基本的な責任として、安全で安心して働ける職場環境づくりに取り組んでいます。

基本的人権の尊重

あらゆる場面において個人の尊厳の確保に取り組むこと、人種・民族・国籍・宗教・性別・身体的特徴などを理由とした差別を一切行わないことを「シーレックス倫理綱領」に謳い、社内に周知および徹底をはかっております。特に、セクシャルハラスメントおよびパワーハラスメントの防止を含めた基本的人権の尊重については、管理職研修の実施や専用の相談窓口を設置するなど、問題の解決や防止に努めています。



●法令遵守ブック

労働安全衛生の推進

労使による安全衛生委員会を定期開催し、安全教育や安全対策の展開をおこなっております。

特に、生産部門においては、「安全ヒヤリハット」や「危険作業のリスクアセスメント」を実施し、職場内の安全意識の向上による労働災害の撲滅を目指しています。

	労働災害件数	休業災害
2008年	9	0
2009年	6	0
2010年	3	0

●グループ会社含む

健康管理・健康増進

疾病の予防と早期発見、健康の保持増進を目的に定期健康診断を実施しております。また、生活習慣に改善が必要な従業員に対し、産業医や管理衛生士による健康指導もおこなっております。



健康志向が高まる中、特に喫煙はさまざまな疾病の発症原因となり、本人はもとより周りの人たちの健康にも悪影響を与えます。当社では、従業員の喫煙率を下げるため目標管理制度に禁煙加点を取り入れ、生活習慣の改善を進めています。

AED(自動対外式除細動器)

「助かる命を助けるために」をスローガンに定期的に普通救命講習会を開催しております。“いざ”という時に備え、2007年に導入したAED(自動対外式除細動器)の取り扱いについても出来るだけ多くの方が取り扱えるように講習を受けています。



社会・地域社会貢献活動（地域とともに）

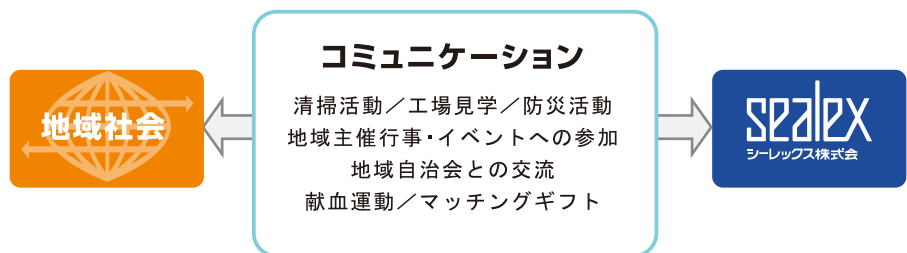
私たちは、良き企業市民として、地域の皆さまと良好な関係を築き、地域社会との共生を図っていくことが重要な活動と捉えています。地域に根ざした企業を目指し、各地の事業所でさまざまな社会貢献活動をおこなっております。

地域社会との共生

シーレックスは、さまざまな活動を通じて、地域社会とのコミュニケーションを深めています。環境美化の一環として清掃活動、工場見学や実習生の受け入れ、地域主催のイベントへの参加など地域に根ざした活動を積極的に展開しています。

ボランティア活動

広島営業所では2007年から“ハイプロワーズ広島”という電動椅子サッカーチームの活動のお手伝いをしています。選手は、小児マヒや脊椎損傷、筋ジストロフィーなどの重度の障がいを抱えていて、通常の車椅子の操作が出来ないため、全員電動タイプにのり、アゴや足の指先などで車椅子を操作します。お手伝いを始めて4年が経過し、最近ではサッカーの練習サポートだ



けでなく、電動車椅子サッカー協会主催の大会サポートも多くなりました。会場設営や来場者誘導、パソコンとプリンターを持ち込んでメンバー表の作成など、大会スタッフとしてお手伝いをしております。



ボランティア活動

兵庫工場では『たたらぎダム湖マラソン』に給水ボランティアとして参加しています。このマラソンは、全国から集まった2,000人以上のランナーがダム湖の外周約21.1kmを走ります。トップランナーから家族や友達と楽しく走るランナー、他にもいろんなランナーが参加するこの大会をシーレックスは応援しています。



清掃活動

シーレックスでは、毎年、5月30日を「ゴミゼロ」と名づけて、全国一斉に清掃活動を実施しています。



本社



大阪支店・SLX大阪



東北営業所・東北工場



福岡営業所



兵庫工場



名古屋営業所



京都営業所



広島営業所



東京工場

工場見学

シーレックスは、地域とのコミュニケーションを大切に、そこで暮らす子どもたちの笑顔、そして未来を応援しています。工場では地域の皆さまにより親しんでいただけるように工場見学などに積極的に取り組んでいます。



エコキャップ運動

この運動は、飲み終わったペットボトルのキャップを回収し、その売却金で世界の子どもたちにワクチンを届ける取り組みです。それと同時に、キャップを資源化することでゴミの削減にもつながります。シーレックスは、『地球に愛を、子どもに愛を』エコキャップ運動に取り組んでいます。



使用済み切手／テレホンカードの回収

名古屋営業所では、使用済みの切手やプリペイドカードを集めています。これらをボランティア団体に送り、アジア・アフリカの植林活動や途上国の子どもたちの支援活動に役立ててもらっています。



CSR REPORT 2011

みなさまに信頼され必要とされる企業であるために

環境パフォーマンス

シーレックスグループは常に「“かけがえのない地球”の環境と資源を健全な状態で次世代へ引き継ぐことは私たちの責務」とし、環境と調和した循環型社会をめざし、グループ全体が共通認識のもと環境保全活動を推進しています。



環境保護体制の推進

シーレックスグループは、“かけがえのない地球”の環境と資源を健全な状態で次世代へ引き継ぐことは私たちの責務とし、環境と調和した循環型社会を目指し、グループ全体が共通認識のもと環境保全活動を推進しています。

シーレックスは、1999年に環境マネジメントシステム (ISO14001:EMS) の認証を取得して以来、環境保全活動を重要なテーマとして取り組

んでいます。グループ会社を含めた11事業所でCO2の削減や産業廃棄物の削減、使用禁止化学物質の管理など、環境アセスメントで抽出した著しい環境側面の改善に取り組んでいます。また、これまでに比ベゴミが少ないラベルや、地球環境にやさしい材料を使用したラベルなどの環境配慮型製品の開発や販売をおこなうことで、環境保護に貢献しています。



シーレックス環境方針

○ 基本理念

シーレックスは常に「“かけがえのない地球”の環境と資源を健全な状態で次世代へ引き継ぐことは私たちの責任であり、義務である」を念頭におき、環境と調和した循環型社会をめざし、事業活動のあらゆる面で、環境保全に配慮し行動します。

○ 基本方針

- 1.シーレックスは事業活動において地球環境の保全を推進するため、組織を整備します。
- 2.事業活動が環境に与える影響を捉え、技術的、経済的に可能な範囲で環境目的・目標を定め、環境保全活動を推進し、継続的改善を図り、環境汚染の予防に努めます。
- 3.環境関連の法律、規制および協定などを遵守するとともに、自主管理基準を設定し環境保全に取り組めます。
- 4.事業活動の全領域で省エネルギー、省資源、リサイクル、廃棄物削減に取り組めます。
- 5.環境に配慮した商品づくりおよび技術開発を行うとともに、グリーン調達を推進を図ります。
- 6.環境監査を実施し、環境管理の維持向上に努めます。
- 7.環境教育を実施し、全社員の環境方針の理解と、環境に関する意識向上を図ります。
- 8.社会とのコミュニケーションに努め、地域社会の環境活動に、積極的に貢献します。

環境ビジョン2010年度評価

シーレックスは、環境方針の基本理念を達成するために具体的な目標を立て取り組んでいます。

評価基準:数値化目標については下記の基準で評価

S:目標を十分に達成した A:目標を達成した B:目標が達成できなかった C:目標を大きく下回った

方針	目標	評価
法規制の遵守	水質検査を定期的に行い、水質基準を守る	A
	騒音・振動測定を定期的に行い、基準を守る	A
	特別管理産業廃棄物の管理を継続的に行う	A
	材料および副資材の購入について使用禁止化学物質の含有管理を行う	A
CO2の削減	CO2排出量を売上げ原単位で2009年度対比1%削減する	B
産業廃棄物の削減	産業廃棄物の排出量を売上げ原単位で2009年度対比1%削減する	A
リサイクル化の推進	リサイクル率を98%以上で継続する	A
省資源の推進	材料在庫金額を前年対比で20%削減する	A
環境配慮型製品の開発	環境配慮型製品の開発を行う	A
グリーン購入の推進	事務用品などの購入品はグリーン購入ガイドラインに準じて行う	A